

音楽科学習指導略案

1年2組 28名 指導者 伊東奈央

本授業では、以下の検証を行うものである。
 子どもが課題を明確にし、課題解決の意欲を持続しながら活動するために、ペア活動における手立てやポイントシートは効果的であったか。

- 1 題材** はくにとって リズムを うとう
教材 「じゃんけんぼん」 芙龍明子作詞/橋本祥路作曲, 「げんこつやまのためきさん」 わらべ歌
 「しろくまのジェンカ」 平井多美子日本語詞/ケンウォール作曲
 「ぶんぶんぶん」 村野四郎日本語詞/ボヘミア民謡
 「うみ」 文部省唱歌/林柳波作詞/井上武士作曲
- 〔共通事項〕 旋律、拍の流れやフレーズ、リズム

2 指導計画 (総時数12時間)

主な学習活動【評価規準】	〔共通事項〕	時間
1 「はくにとってリズムをうとう」の題材で、拍を感じながら歌ったり、リズムを打ったりする学習に取り組むことを知る。 【関：範唱や範奏、リズム視唱、言葉のリズムなどに興味を持ち、拍の流れに乗って表現する学習に進んで取り組もうとしている。】 じゃんけんぼん	リズム (拍とリズムの違い) 拍の流れ フレーズ	1
2 身振りを付けながら歌ったり、範唱に合わせて遊んだりして、拍の流れを感じ取る。 【関：範唱に合わせて、自由に体を動かしながら歌おうとしている。】 3 拍の流れに乗って、「タンタンタンウン」のリズムを手やカスタネットで打ったりする。 【技：範唱や範奏、伴奏などを聴いたりリズム譜を見たりして、拍の流れに乗ってリズム唱したりリズムを打楽器で演奏したりしている。】		1 (本時)
げんこつやまのためきさん 4 歌ったり音楽に合わせて体を動かしたりしてリズムを感じ取る。 【創：リズムのまとまりや言葉のリズムの面白さを感じ取りながら、拍の流れに乗って身体表現を工夫している。】 5 拍の流れに乗って、「タンタンタンタンウン」のリズムを演奏する。 【技：範唱や範奏、伴奏などを聴いたりリズム譜を見たりして、拍の流れに乗って歌ったり打楽器を打ったりしている。】	リズム (楽器でのリズム演奏)	1 1
しろくまのジェンカ 6 音楽に合わせて歌ったり体を動かしたりする。 【鑑：拍の流れや曲を特徴付けているリズムに関心をもち、進んで聴こうとしている。】 7 拍の流れに乗って、「タンウンタンウンタンウン」のリズムを演奏したり、グループに分かれて聴き合ったりする。 【技：範唱を聴いたりリズム譜を見たりして、拍の流れに乗ってリズム唱をしたり手拍子や楽器でリズムを演奏したりしている。】	リズム (楽器でのリズム演奏) 拍の流れ (アとイのリズムのまとまり)	1 1
ぶんぶんぶん 8 拍に合わせて、リズムを手やカスタネットで打つ。 【技：拍の流れに乗って歌ったり、リズム譜を見て手拍子や楽器でリズムを演奏したりしている。】 9 リズムを感じながら、きれいな声で歌う。 【関：範唱や範奏、リズム視唱、言葉のリズムなどに興味を持ち、拍に乗って表現する学習に進んで取り組もうとしている。】	リズム (楽器でのリズム演奏) フレーズ (三つのフレーズで構成されている)	1 1
ことばあそび 10 (あ)「タンタンタンウン」のリズムに合う言葉を挿し絵のカードから選ぶ。 【創：リズムのまとまりの違いや言葉のリズムの面白さを感じ取りながら、拍の流れに乗って身体反応を工夫している。】 11 (あ)と(い)「タタタタンウン」の拍の流れに乗って、(あ)と(い)を交互に続けて言う。 【技：拍の流れに乗って、言葉を唱えたり言葉のリズムでリレーしたりしている。】	リズム (拍に合わせたリズム)	1 2
うみ 12 拍に乗って、体を動かしながら歌う。 【創：3拍子の拍の流れや気分を感じ取って、歌い方を工夫している。】	拍の流れ フレーズ	1

3 本時 (2/12)

- (1) 目標
拍の流れに乗って、「タンタンタンウン」のリズムを手やカスタネットで演奏することができるようにする。
- (2) 評価規準
範唱や範奏、伴奏などを聴いたりリズム譜を見たりして、拍の流れに乗ってリズム唱したりリズムを打楽器で演奏したりしている。 【音楽表現の技能】
- (3) 指導に当たって
「つかむ」過程では、リズムリレーで遊びながらオルガンの2ビートを聴いて拍を感じ取らせるようにする。また、リズムリレーで使った「タンタンタンウン」のリズムが『じゃんけんぼん』にも隠れていることに気付かせることで、曲に合わせて手拍子を打ってみたい気持ちを引き出すようにする。
「見通す」過程では、どのような順番で学習を進めていくかを考えさせることで、本時の学習に見通しをもって取り組むことができるようにする。
「追究する」過程では、友達と手を合わせてリズムを打ったり、カスタネットを使って周りとの音を合わ

せたりする経験を通して、拍の流れに乗ってリズム打ちをする楽しさを味わわせるようにする。リズム譜を貼らせる活動を取り入れ、「ゲーゲー」と「タンタンタン」のリズムが同じだということをつえさせる。「磨き合う」過程では、曲に合った打楽器の音の出し方を意識できるように、友達の発表を聴いて、良いところを導き出し、それを真似させることで、音色に関する意識を高められるようにする。「振り返る」過程では、本時で学習した感想を伝え合い、次時の『げんこつやまのたぬきさん』への学習意欲を高め、どのようなリズムなのか期待感をもてるようにする。

(4) 本時の展開 〔 〕 子どもの意識 ○ 指導の手立て ※ 評価

過程	時間	形態	主な学習活動と教師の指導・手立て	教材等	
つかむ	7	みんなで	1 みんなで既習教材の「なまえあそび」をする。 <ul style="list-style-type: none"> 「好きなものはなあに」「○○○」のリズムリレーだね。 『じゃんけんぽん』の曲にも「タンタンタンウン」のリズムがありそうだな。 『じゃんけんぽん』の曲に合わせて手拍子をしたり楽器を演奏したりしたいな。 	<p>「音タイム」では、既習教材の「なまえあそび」で使用した「タンタンタンウン」のリズムが『じゃんけんぽん』にも隠れていることに気付かせるために、『じゃんけんぽん』の曲と手拍子に合わせてリズムあそびができるようにする。</p>  <p>子どもにリズム譜を黒板に貼らせることで、リズムを視覚的に捉えさせるようにし、意欲の持続化を図る。そうすることで、速さが変わっても手拍子だけでなく、足踏みやカスタネットなどでも拍の流れを感じ取りながらリズムが打てるようにする。</p>	学習の流れカード
			2 学習課題を確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">うたにあわせて リズムをうとう。</div>		
見通す			3 学習の進め方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> まず、一人でやってみたいな。 二人で手を合わせてたたきたい。 最後はみんなの前で発表しよう。 みんなとそろえられると楽しそうだな。 		
追究する	18	一人で	4 リズム譜を見て、「タンタンタンウン」のリズムを演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> 先生の手拍子をよく見て真似をすることができるぞ。一人でやるのは簡単だ。 リズムを声に出してたたくと友達と合わせることができるよ。 友達と合わせられるようになるともっとリズムを打つのが楽しくなってきたぞ。 	<p>リズムを声に出して打つと友達と揃えられることに気付かせるとともに、慣れてくるとリズムを心の中で唱えるだけで合わせることができることに気付かせる。</p>  <p>拍の流れを意識させるために、伴奏の速度を変えて様々な速さでリズム打ちを楽しませる。また、ペア活動の流れを確認して、掲示することで、進んで取り組むことができるようにする。</p>	リズム譜 カスタネット
		ペアで	5 拍の流れに乗って、「タンタンタンウン」のリズムを手や楽器で演奏する。 <ul style="list-style-type: none"> 楽器でリズムを打ってみたいな。 同じ楽器なのにそれぞれ音が違うよ。 写真の女の子は、お母さん指にゴムを付けているね。 指先で打つといい音が鳴るよ。 列ごとに打ってみようよ。 みんなで合わせると楽しいな。 速さに合わせる時は、心の中ではくをとるといいよ。 いろいろな速さでリズムを打ちたいな。 体を動かしながら、楽器を打ってみたい。 		
磨き合う	15	みんなで	6 がんばり発表会をする。 <ul style="list-style-type: none"> カスタネットは指先で打つときれいな音がするんだね。 「タンタンタン」のリズムがそろっていてもよかった。 歌とリズムがどちらも聞こえたよ。 	<p>※ 範唱や範奏、伴奏などを聴いたりリズム譜を見たりして、拍の流れに乗ってリズム唱したりリズムを打楽器で演奏したりしている。 (演奏の仕方)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 拍の流れに乗って演奏している子どもには、歌いながらリズムが打てるようにする。 ○ 拍の流れに乗れず、活動が停滞している子どもには、絵譜を見ながら教師と一緒にリズム打ちができるようにする。 </div>	演奏模倣写真 「音楽のもと」カード
振り返る	5	みんなで	7 本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto;">「タンタンタンウン」がみんなとびたつとそろって『じゃんけんぽん』の曲がもっと好きになったよ。</div> <ul style="list-style-type: none"> 次は「タンタンタンタンタンタンウン」のリズムが楽しみだな。 次も拍の流れに乗りりたいな。 	<p>友達の発表を聴いて気付いたことを交流させることで、気付きの共有化を図る。</p>  <p>本時の学習のできるようになったことを称賛し、次は『げんこつやまのたぬきさん』の学習でリズム遊びをすることを伝え、次時への意欲を高めさせる。</p>	